

### ふれあい広場 春の感謝祭



3月27日は肌寒い天気の日曜日でしたが、ふれあい広場は早朝からいつものように多くの人でにぎわっていました。駐車場にはテントが張られ、テーブルが用意されています。春の感謝祭では、日頃来てくれていたお客さんに楽しんでもらいたいと、綿菓子やつくした餅がサービスされ、農家直送の野菜は格安で販売されているものもありました。大鍋で煮込まれた具だくさんの豚汁や手作りの漬物もあり、ほっとするような暖かい朝になりました。

【福崎信一さん】

### 宮地嶽神社の桜が満開



4月2日、宮地嶽神社の境内に満開になった桜を見に行きました。すばらしい快晴だったこともあり、駐車場などは車でいっぱい、近年にない人出の多さにびっくりしました。お弁当を食べたりお酒を飲んだりしている人が大勢いました。また、子どもや孫の世話をしている人やキャンパスに桜の絵を描いている人、写真やビデオを撮るのに熱中している人など、皆さん思い思いに花見を楽しんでいて、満開の桜の中、花見客の笑顔も満開でした。

【山本武利さん】

### 和ごま大会で熱い戦い



3月26日、ふくつこま部主催の第2回和ごま大会が開催され、こまが大好きな幼児から中学生までの子どもたち32人が参加しました。愛着がある自分のこまを長く回せるように集中したり、喜びや悔しさを素直に表現したりする姿は、見ている大人を魅了しました。団体戦では一丸となって応援して励まし合いながら戦っていました。昔ながらの遊びであるこま遊びは、子どもたちにとっていつの時代も共通して楽しめるものだと感じました。

【下田弘美さん】

### 吉田屋のしょうゆ瓶



江戸時代に津屋崎千軒で創業し、明治・大正時代にかけて栄えた旧吉田醤油屋。17代目吉田作次郎良次さんは、明治33年のパリ万国博覧会にしょうゆを出品しました。ひ孫の理史さん（写真）によると劣化に強い伊万里焼の瓶を特注したそう、津屋崎千軒民俗館藍の家に保管されています。吉田屋のYとしょうゆのSを組み合わせたマークが施された六角形のおしゃれな瓶です。海を越えて時を刻んだその瓶に良次さんの気概を感じました。

【櫻井紀子さん】



**よくかんで味わって食べよう**  
日本人は世界でも屈指の「早食い民族」です。昼食を食べるのにかかる平均時間は10分から20分程度で、3食合わせると1時間10分というデータがあります。また、時代とともにかむ回数も減っています。1回の食事にかむ回数が戦前は1460回だったのに対し、現在は620回になっています。その背景には、柔

らかく口当たりの良いものがごちそうであるという風潮があります。  
よく「一口30回かみましよう」といわれますが、30回かむと口の中にほとんど残っていない気持ちはよくかみましようという意味です。  
かむことの効果は歯周病などを予防する歯の健康、血糖値の上昇を防ぐ、食べ過ぎを防ぐ、脳の血流を促進させストレスを軽減、記憶力をアップさせる、がん予防などさまざまあります。特に子どもは、歯並びをよくするための顎の発達や味覚の発達のためにも、小学校入学前までは一品、小学生以上なら2品程度のかみかみのある献立を用意するのがお勧めです。



毎月19日は  
「食育の日」です

福津市いきいき健康課健康づくり係(ふくとびあ)  
☎34・3351  
メール  
fukutopia@city.fukutsu.lg.jp



▲防災訓練の様子

当日は参加者全員が真剣な表情で訓練に参加し、防災への意識の高さが伝わってきました。万一のときに、「あのときはこうしたな」と思い出してくれることを願っています。訓練の終盤には、非常食の試食や豚汁の炊き出しがあり、参加者全員の心もおなかも満たされ、次の訓練への意欲も高まりました。  
(神興東地域郷づくり推進協議会)



「郷づくり」とは?  
市内をおおむね小学校区単位で八つの地域に分け、地域の住民や団体が、課題解決や魅力ある地域にするために活動しています。

福津市郷づくり支援課  
(津屋崎庁舎)  
☎52・4913  
メール sato@city.fukutsu.lg.jp  
郷づくりホームページ  
http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp

### 神興東郷づくりの紹介 「全市一斉防災訓練」

「こんな楽しい防災訓練は初めてだった」「びっくりした」。昨年11月に行われた全市一斉防災訓練の日、特に子育て世代や子どもたちからこんな声が聞かれました。

神興東地域では今回の訓練で、自衛隊や消防署、地域の消防団、コミュニティ・スクール、神興東小学校のPTAなどの協力を得て、約1300

人の住民が参加する大規模な訓練を行いました。はしご車の実演や消火器を使った消火活動、煙道体験、救命講習など、これまでの自治会単位の訓練では実施することが難しかった項目を多く取り入れ、「体験し記憶に残る訓練」を目指しました。